

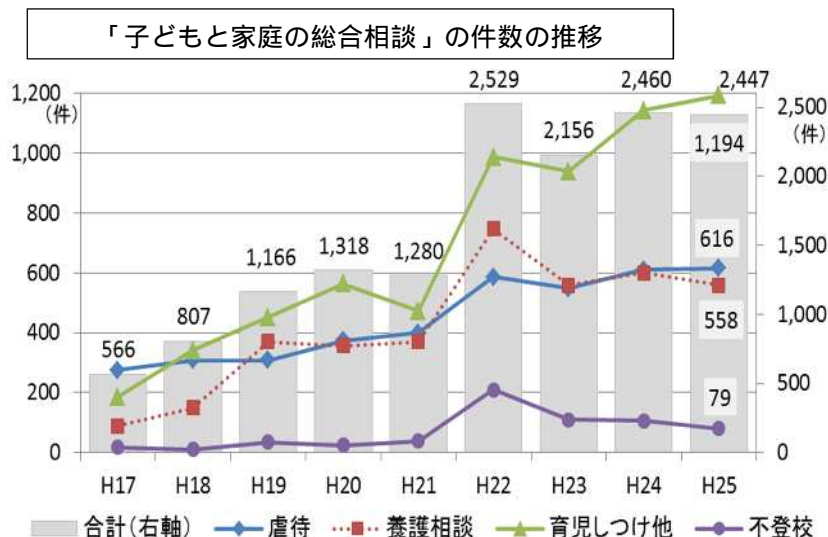
1 - 2 子育て・教育

子育て環境

～子育て支援に対するニーズの多様化と量の拡大～

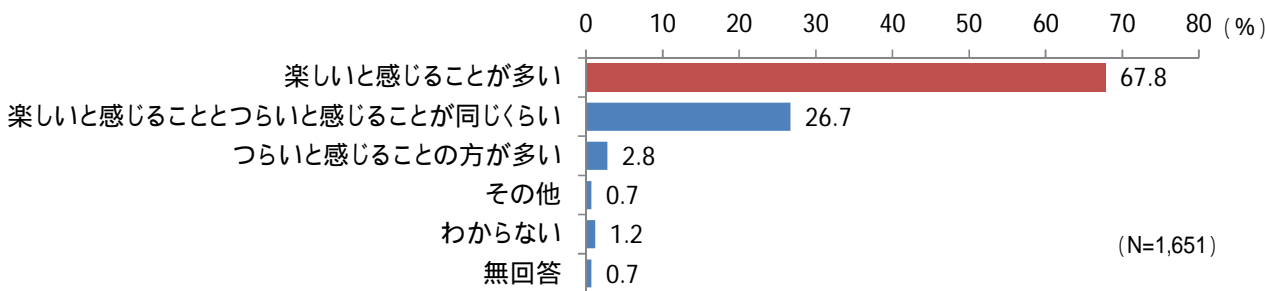
- ・ 子ども家庭支援センターに寄せられる「子どもと家庭の総合相談」の件数は、増加傾向にあります。
- ・ 就学前児童の保護者に対する調査では、「子育てを楽しんでいると感じることが多いと思う」保護者は 67.8%を占めています。一方で、「楽しいと感じることが多いと思う」と「つらいと感じることが多いと思う」が同じくらい(26.7%)と「つらいと感じることが多いと思う」(2.8%)と答えた保護者にとって、「子育てのつらさを解消するために必要なこと」としては、「保育サービスの充実」、「仕事と家庭生活の両立」、「地域における子育て支援の充実」などが上位となっています。
- ・ 一時預かりの利用者は、この5年程度で約 11,600 人増加しています。
- ・ 平成 26 年 4 月 1 日現在の保育所の待機児童数は 487 人で、都内では世田谷区、大田区、板橋区に次いで多くなっています。
- ・ 就学前児童の中で認可保育所等の保育サービス利用児童数は増加しています。
- ・ 練馬区子ども・子育て支援事業計画等の策定に係るニーズ調査では、2歳までは認可保育所の希望が多くなっていますが、3歳以降は預かり保育のある幼稚園への希望が最も多くなっています。
- ・ 小学生の放課後対策として、学童クラブおよび学校応援団ひろば事業を実施していますが、学童クラブの利用者数は増加傾向にあります。また、「夏休み居場所づくり事業」の利用者数も、実施年度を重ねるごとに増加する傾向にあります。

育児や虐待に関する相談件数は年々増加しており、子育てに不安や負担を感じる保護者は少なくありません。保護者のニーズの増加や多様化も踏まえ、その解消に向けて保育サービスや地域における子育て支援を充実する必要があります。また、3歳以降は保護者の教育・保育双方の利用希望が高く、認可保育所等に加えて、幼稚園の預かり保育の充実が求められています。さらに、小学生の放課後の安全・安心な居場所づくりを行う必要があります。



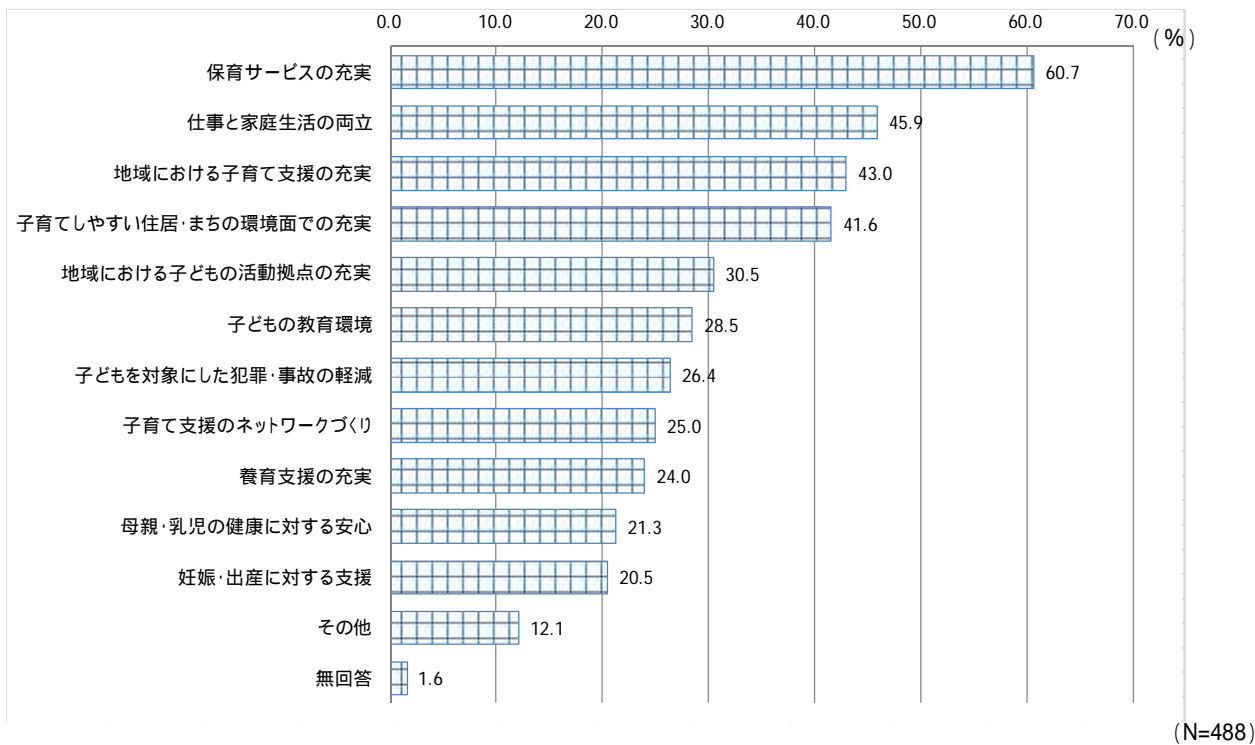
[出典] 練馬区「練馬区勢概要」

子育てを楽しんでいることが多いと思うか



子育てをする中でどのような支援・対策が有効と感じているか

「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」「つらいと感じることが多い」と回答した方を対象にした設問の回答内容



[出典] 練馬区「練馬区子ども・子育て支援事業計画等の策定に係るニーズ調査 - 就学前児童の保護者 - 」(平成 26 年 3 月)

多様な保育サービスの利用状況

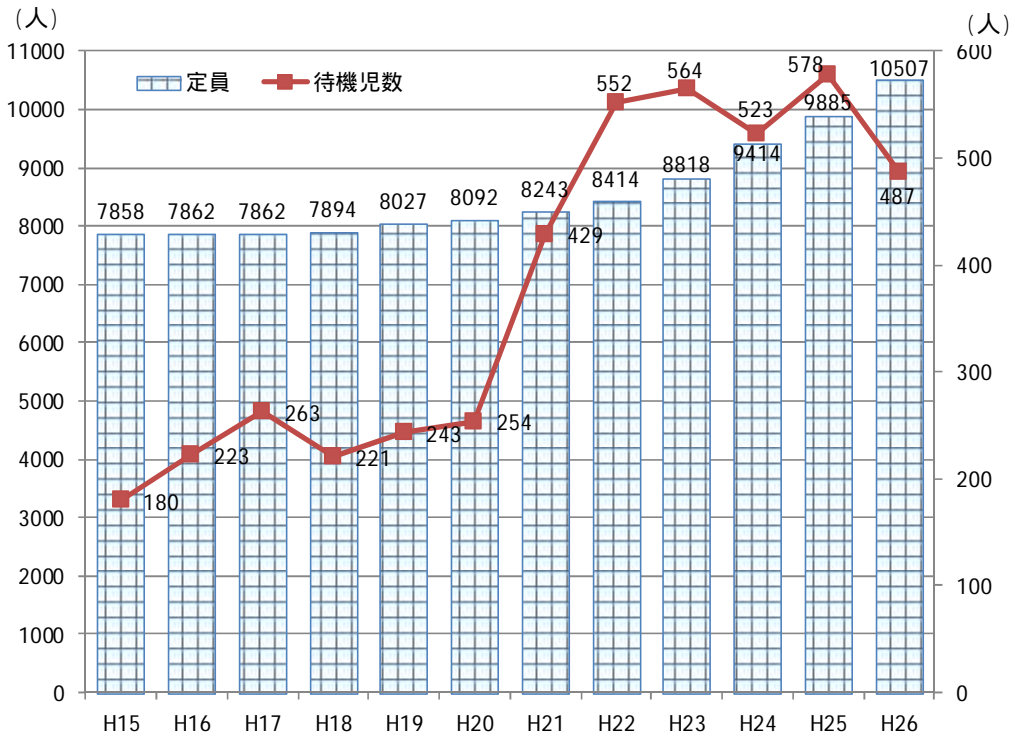
(単位:延べ人日)

年度	年末保育	病児・病後児保育	休日保育	保育所一時預かり	乳幼児一時預かり	短期特例保育	ショートステイ(宿泊型一時保育)	トワイライトステイ(夜間一時保育)
H19	199	2,463	478	3,906	2,663	1,570	903	1,741
H20	227	2,697	340	5,173	4,357	1,032	814	1,415
H21	284	2,661	558	5,282	5,752	1,627	863	1,798
H22	284	3,199	665	6,059	9,072	1,056	1,233	2,304
H23	289	3,237	744	7,628	9,563	995	1,452	1,914
H24	127	3,700	656	7,895	10,311	1,162	1,350	2,349

[出典] 練馬区「練馬区勢概要」

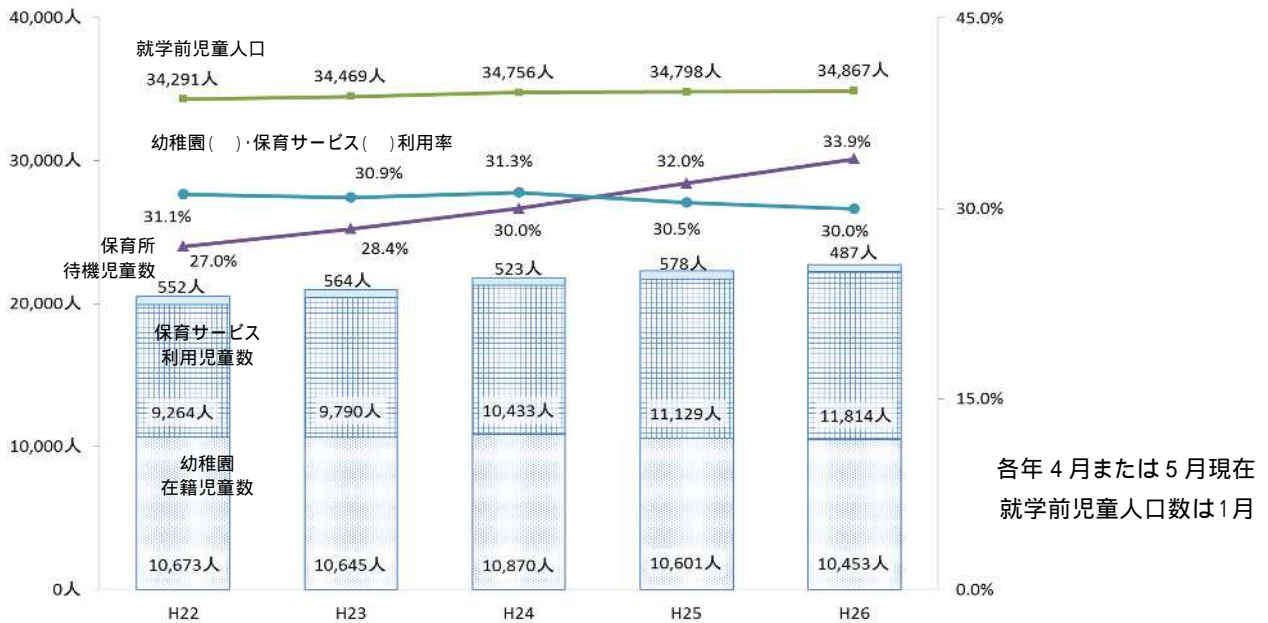
保育所定員、待機児数の推移

(各年4月1日現在)



[出典] 練馬区「練馬区勢概要」

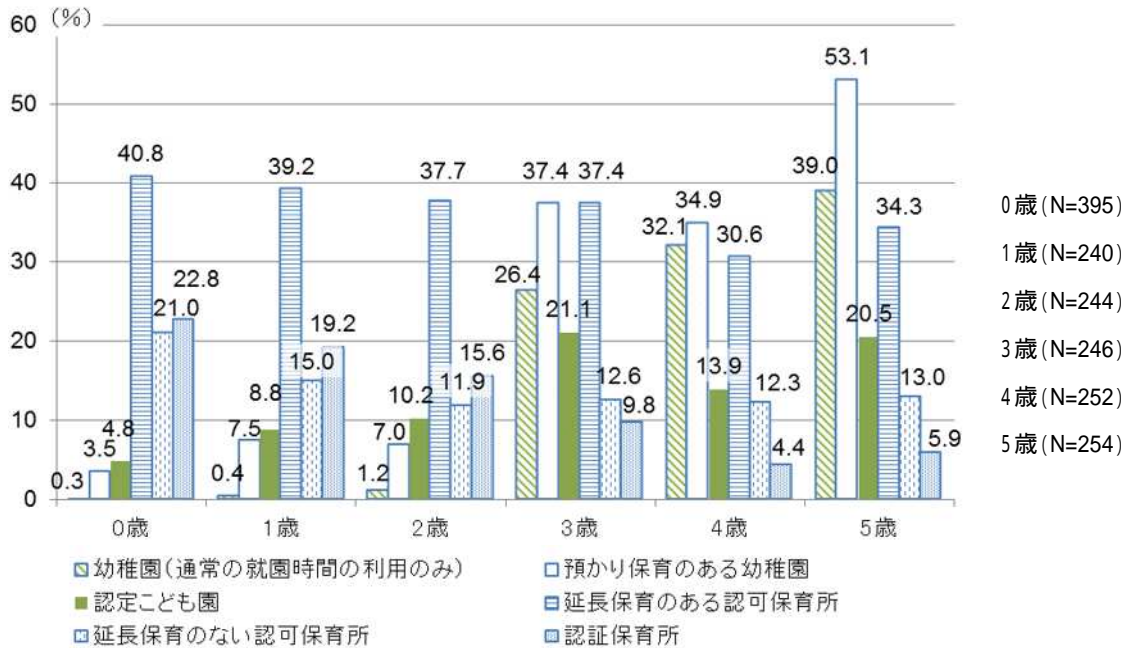
教育・保育サービス利用児童数等推移



各年4月または5月現在
就学前児童人口数は1月

[出典] 練馬区「練馬区勢概要」「練馬区教育要覧」等をもとに作成

年齢別保護者の希望する教育・保育事業

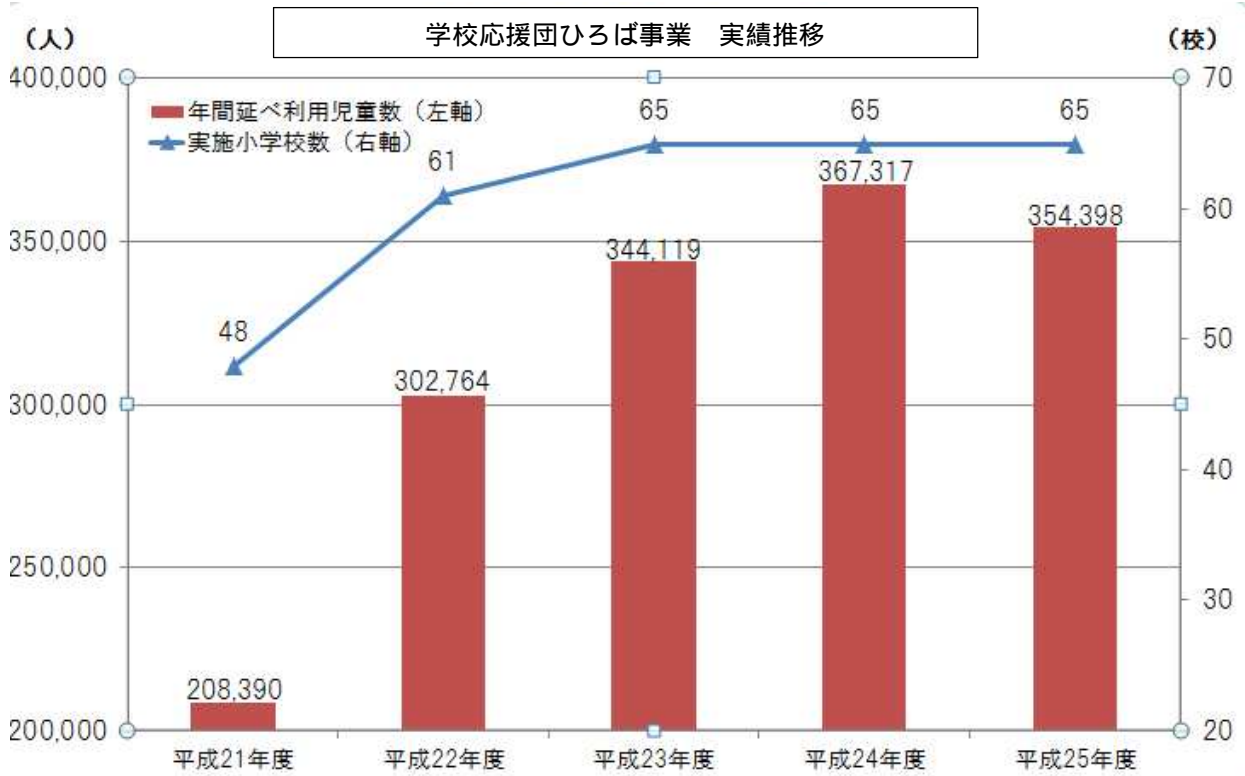


[出典] 練馬区「練馬区子ども・子育て支援事業計画等の策定に係るニーズ調査 - 就学前児童の保護者 - (平成 26 年 3 月)」をもとに作成

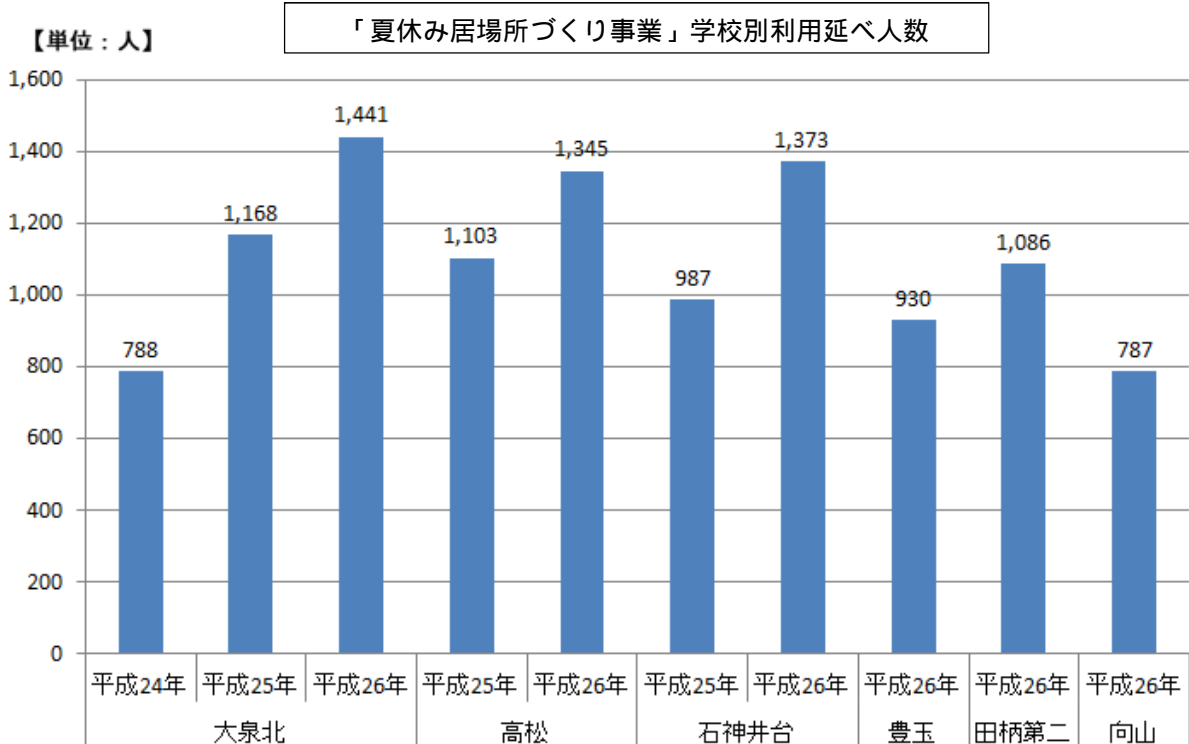
区立学童クラブ在籍・待機児童数の推移



[出典] 練馬区子ども家庭部資料



[出典] 練馬区こども家庭部資料



[出典] 練馬区こども家庭部資料